

宗祖法然上人 800 年大遠忌記念人形劇

ミラクル★キッズ

— 勢至丸と奇跡の子どもたち —



- 大正大学浄土宗、大正大学鴨台会共催
- 企画・制作：浄土宗
- 上演：人形劇団クラルテ



法然共生

2012年11月28日(水) 大正大学(礼拝堂)

第1回公演 = 10:55~12:40 第2回公演 = 14:30~16:15 ※公演時間: 1時間45分

入場料: 無料

※全席自由

5名以上の団体は、座席確保のため事前にFAXまたはメールにて ① 申込み代表者氏名・連絡先、② 団体人数をお知らせください。

お問い合わせ

大正大学鴨台プロジェクトセンター

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1 3号館1F

TEL & FAX : 03-5394-3062(直通) mail : oudai-info@gamail.tais.ac.jp



宗祖法然上人800年大遠忌記念人形劇 ミラクルキッズ

— 勢至丸と奇跡の子どもたち —



■スタッフ

脚本・演出：東口次登
協力：浄土宗 演劇制作委員会
人形美術：永島梨枝子
舞台美術：西島加寿子
音楽：一ノ瀬季生
特殊効果：松原康弘

照明：永山康英
振り付け：隅地菜歩 (セルグラフィカ)
舞台監督：松原康弘
歌：岡崎陽香
岡崎朱里
岡崎仁美

制作：古賀恵子
斉藤麻美
宣伝美術：大條一郎
写真：田嶋 哲
デスク：菊池久子

■ダンサー

阿比留修一
藤井 雅
高見智征
森本あやこ

■キャスト

勢至丸 永島梨枝子
カノン 西島加寿子
シンジ 福永朋子
漆間時国 松原康弘
母上 奥村佳子

明石定明 宮本 敦
観覚上人 松原康弘
兵士 隅田芳郎

ごあいさつ

法然上人（幼名・勢至丸）は、九歳のとき、敵の夜討ちに遭って、父（漆間時国）を亡くされます。

お父様の「仇討ちは仇討ちを招く、出家して私の菩提を弔い、自らの悟りを求めよ。」との遺言にしたがい、厳しい修行に励まれ、お念仏の教えをみいだされ、浄土宗をお開きになりました。

そのみ教えは、「お念仏をとこなえることにより、阿弥陀様のお救いを受けて、平和な毎日を送り、お浄土に生まれることができる」という教えです。

すべての人が救われるお念仏の教えを示された法然上人の、八百年大遠忌を迎え、法然上人のみ教えをわかりやすくお伝えするために、人形劇を制作いたしました。

ぜひ、ご家族そろって、人形劇「ミラクルキッズ - 勢至丸と奇跡の子どもたち -」をお楽しみください。

浄土宗宗務総長 豊岡 鏡尔

ものがたり

現代の子どもたちが、平安時代へとタイムスリップしてしまい、幼年時代の法然上人である勢至丸と出会い、共に現代と平安の世を行き交う中で互いに影響し合い友情を深め、最後には世界の平和を守る決意をするまでを描いている。

勢至丸は「仇はうつな。争いから離れ僧侶となって、人として生きる本当の道を求めよ。」との父の遺言を受け入れられずにいたが、同じく父を亡くしたカノンの心に触れ、2010年の世界が目の前で戦火に包まれ破壊される様を見て、「自らが僧侶となって世に仏の正しい教えを広めねば地球は暴力と憎しみで滅亡してしまうだろう。」と考え直し、叔父である観覚の下で学び、比叡山に登る決意を固める。勢至丸に別れを告げ紙飛行機に乗った3人は、銀河の中、月影に浮かぶ法然上人の姿を仰ぎ見て、勢至丸の強い意志と、色褪せない永遠の友情を受け止め、遠く離れた現代の世で勢至丸の思いと共に生きる事を誓うのであった。



「平和への意志」

世界の平和をみんなが求めているはずなのに、平和のための戦いだと言張して戦争や紛争は絶えない。そして路上では人が無差別に殺され、生まれたばかりの赤ん坊がゴミ袋に包んで捨てられ、虐待で子どもが死んでしまう事件も増えている。「人間は何故こんなに簡単に人を殺すことができるんだろう！」こんな恐ろしい事は絶対あってはならない。でないと赤ん坊が上げる産声は生まれてきた喜びではなく、この世に生まれたくない叫び声になってしまう。人間の未来を、子どもたちの未来を真剣に考えないこの世は本当の地獄になってしまう。そんな危機感から生まれたのが『ミラクルキッズ』です。

勢至丸は9歳の時に父・時国が明石定明の夜討ちに遭います。当然、武士の子ですから敵討ちです。ところが時国は「敵を恨んで、決して仇を討とうなどと思うな。お前が討てば、お前が恨まれる。恨みが恨みを生む。それでは争いがいつまでたってもなくなるらないのだ。勢至丸、恨みを捨てて、人として生きる、本当の道を求めよ。」と言い残して世界を去ります。武士らしくない末期の言葉ですが、その遺言がなかったら、この世に『南無阿弥陀仏』と唱えれば誰でも救われるという考えは生まれなかったのです。父の遺言が勢至丸を救い、勢至丸は法然上人となって民衆を救ってくれたのです。それは親が子を思う自然な愛の力から生まれたのではないのでしょうか。私たち大人が世界中の子どもたちの親にならないと平和は来ない気がします。

しかし、登場する子どもたちは大人だけに任せてはいません。自分たちの力で解決しようと行動します。そして『奇跡』が起きるのです。それは勢至丸と共に生きた現代の子どもたちが本当に平和を実現する意志を持っていたからなのです。平和は願うだけではなく行動して実現していくものなのです。芝居を観た子どもたちがそういう意志を持ってくれたらと思っています。

未来のために！

脚本・演出 東口次登

“Clarte”

クラルテとはフランス語で「光明」という意味を持ちます。

1948年の創立以来、関西一円の小学校・幼稚園・保育所を巡演している他、北海道から関東・中国・九州・沖縄地方の幼稚園・保育所でも毎年公演させていただいております。各地のお寺では4月の花祭り、夏には地藏盆で呼んでいただいております。